科名 外科
 対象疾患 食道癌
 プロトコール名 DCF

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	...	16	...	29
1	CV	メイン	フィジオ140 5%ブドウ糖	1000mL 1000mL	22時から10時 ※アリメバッグ	↓									
2	CV	側管	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート注	0.75mg 235mg 9.9mg	9時から9時30分	↓									
3	CV	側管	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 50mL	9時30分から10時			↓	↓	↓	↓				
4	CV	側管	ネオレスタール 生食	10mg 50mL	9時30分から10時	↓									
5	CV	メイン	フルオロウラシル フィジオ140 5%ブドウ糖	400mg/m ² 1000mL 1000mL	10時から22時 ※アリメバッグ	↓									
6	CV	側管	ドセタキセル 生食	30mg/m ² 250mL	10時から11時 壊死性抗がん剤	↓									
7	CV	側管	シスプラチン注 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	11時から13時	↓									
8	CV	側管	マンニトールS	300mL	13時から14時	↓									
9	CV	メイン	フルオロウラシル フィジオ140 5%ブドウ糖	400mg/m ² 1000mL 1000mL	22時から～10時 ※アリメバッグ	↓									
10	CV	メイン	フルオロウラシル フィジオ140 5%ブドウ糖	800mg/m ² 1000mL 1000mL	10時から翌10時 ※アリメバッグ			↓	↓	↓	↓				
11	CV	メイン	生食	250mL	ルートキープ残破棄可										↓
12	CV	側管	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 50mL	9時から9時30分										↓
13	CV	側管	ネオレスタール 生食	10mg 50mL	9時30分から10時										↓
14	CV	側管	ドセタキセル 生食	30mg/m ² 250mL	10時から11時 壊死性抗がん剤										↓

★1クール=29日間

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

<ドセタキセル>

調製時、完全に溶解、混和したことが確認できるまで緩やかに混和操作を繰り返すこと。

アレルギー好発時期:初回、2回目

投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

自然滴下の場合は薬剤の特徴により1mL=20滴とならないため滴下数を1.5倍にする。(1hrで滴下する場合126滴/分)